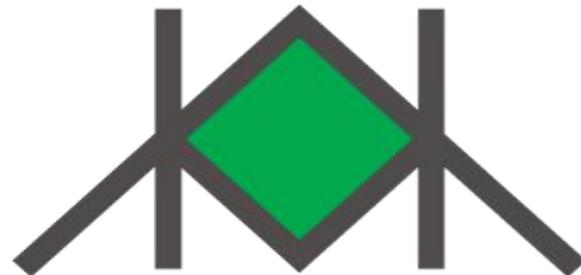


2021.09.29

# 大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会資料

## 北海道建設業協会の概要



くらしを守り地域を支える

一般社団法人

**北海道建設業協会**

Hokkaido Construction Association

# 北海道建設業協会について

## ○沿革

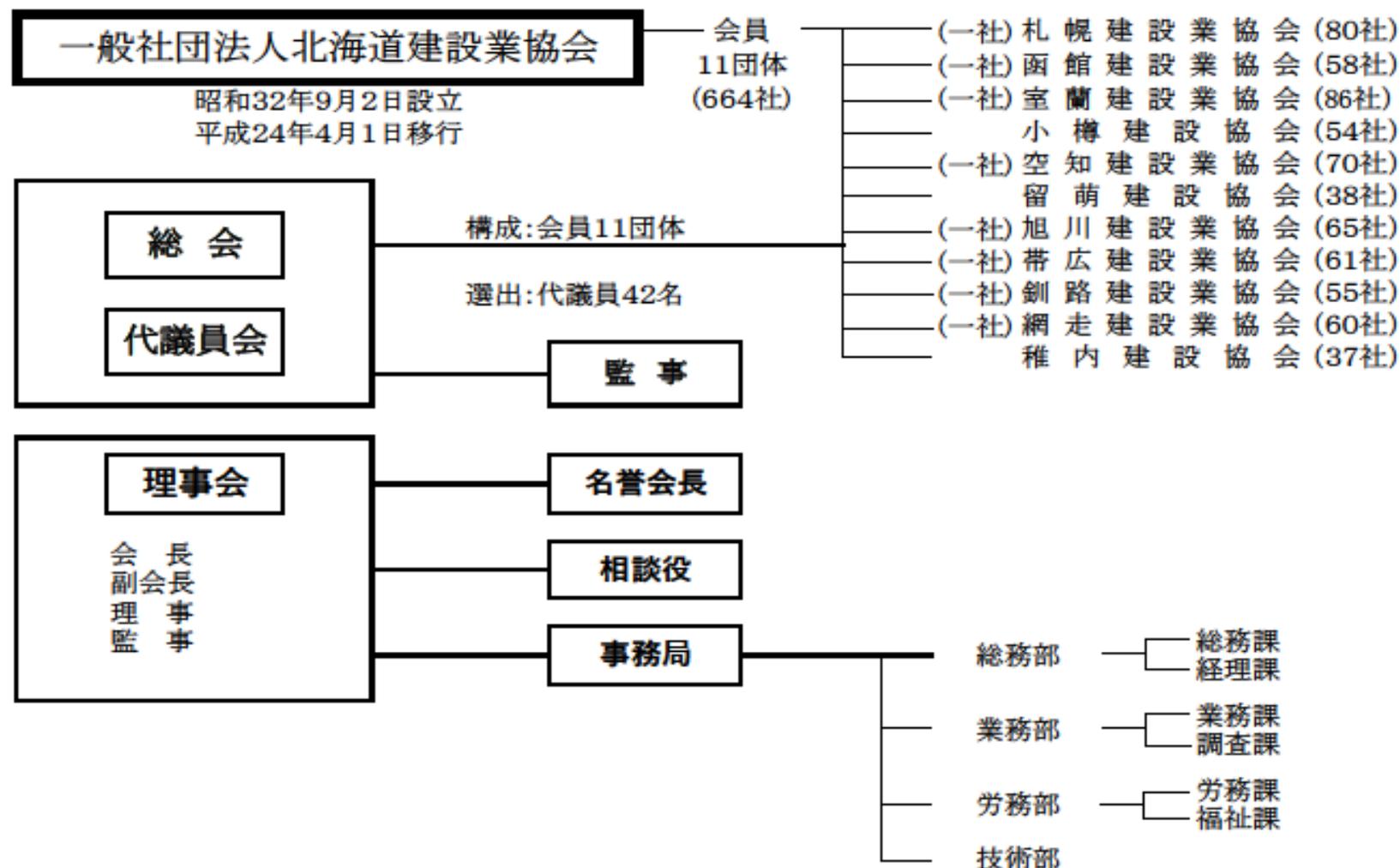
大正5年	札幌土木建築請負組合を設立
昭和32年	社団法人北海道建設業協会を設立
平成24年	一般社団法人北海道建設業協会へ移行

## ○概要

法人名	一般社団法人北海道建設業協会
所在地	札幌市中央区北4条西3丁目1
協会活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会資本整備の計画的な推進</li><li>・ 地域建設業の健全な発展</li><li>・ 建設産業の担い手確保、雇用改善</li></ul>

# 一般社団法人北海道建設業協会組織図

令和3年6月末現在



# 地域建設業の役割

- 地域の社会資本整備、維持管理を担うインフラの担い手
  - 地域の雇用確保を通して地域経済を支える役割
  - 災害時の緊急活動
  - 冬季の除雪作業による交通の確保
- など地域の安全・安心を守る役割

# 協会の活動

- 社会資本整備の計画的な推進

地域経済発展のため、あらゆる機会を通じて、公共事業予算の安定的確保、社会資本整備の計画的推進を政府及び関係機関に要望。

- 地域建設業の健全な発展

地域建設企業の健全な発展のため、調査研究や講習会等により会員企業の技術力の向上を目指す。

- 建設産業の担い手確保、雇用改善

建設産業における将来の担い手不足による社会資本整備や維持管理等への支障が懸念されるため、担い手確保や労働環境改善の取組を進める。

- 働き方改革の推進

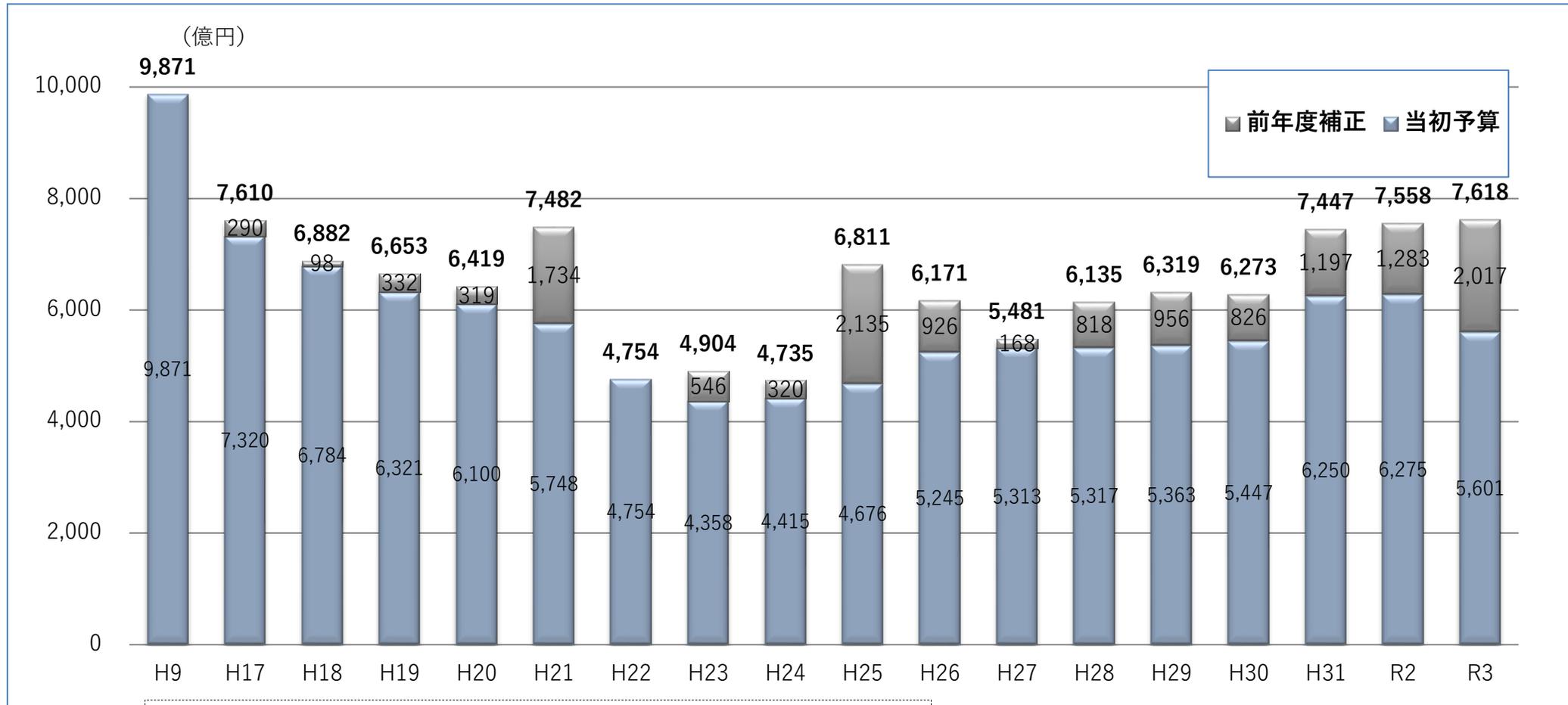
週休2日制の導入や長時間労働の削減など官民一体となった取組を進める。

- 生産性の向上

ICT施工や新技術の導入促進などにより生産性の向上を図る。

# 北海道開発事業費の推移

※令和3年度の北海道開発事業費（国費ベース）は5,601億円で、前年度当初予算額の通常分と同規模となっている。「防災・減災、国土強靱化のための5ヵ年加速化対策」の初年度分（令和2年度第3次補正予算2,017億円）を加えると、補正予算を含む前年度比0.8%増となっている。



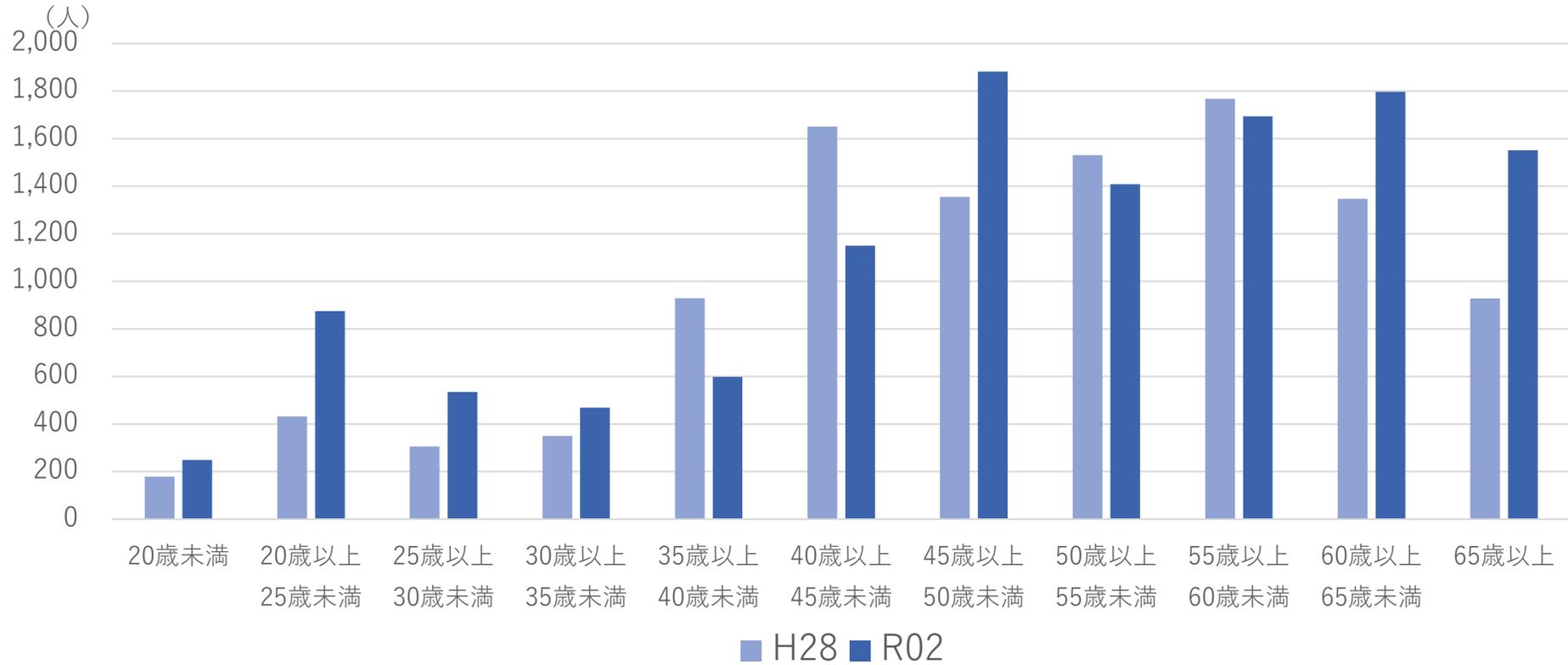
※H21年度の補正は5月に成立したため、H21年度分として計上している。

出典：北海道開発局調べ

# 年齢別技術者数 (R2調査とH28調査の比較)

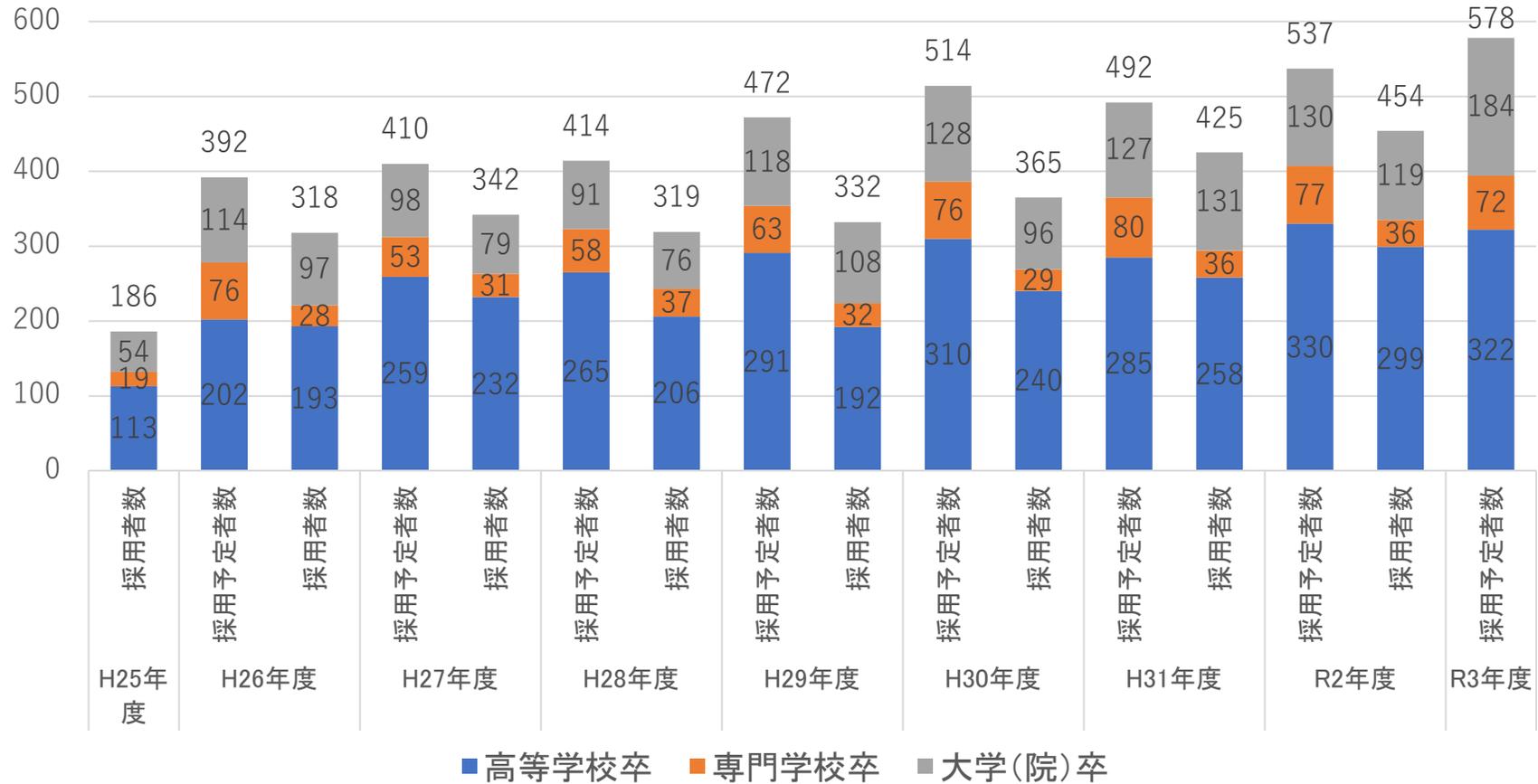
年齢	20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上 65歳未満	65歳以上	合計
技術者数 (R2)	249	875	535	469	598	1,150	1,882	1,408	1,694	1,797	1,551	12,208
技術者数 (H28)	179	431	306	350	929	1,651	1,355	1,531	1,768	1,347	928	10,775

※令和2年度、平成28年度に迎える年齢で作成



# 新規卒業者の採用状況

会員企業の新規卒業者数の採用状況について、毎年、採用予定者数は伸びているが、それを満たすだけの採用数にはなっていない。



※ (一社) 北海道建設業協会 会員企業の景況感等に関するアンケート調査結果による  
 ※調査時期：令和2年12月、回答企業数：410社、回答率：69%

# 現場見学会

建設業の担い手確保、ものづくりの魅力を感じてもらうため、毎年工業高校を中心に実施。令和2年度は生徒、保護者など1500名が参加。



# 災害対応について

- 災害協力行動指針

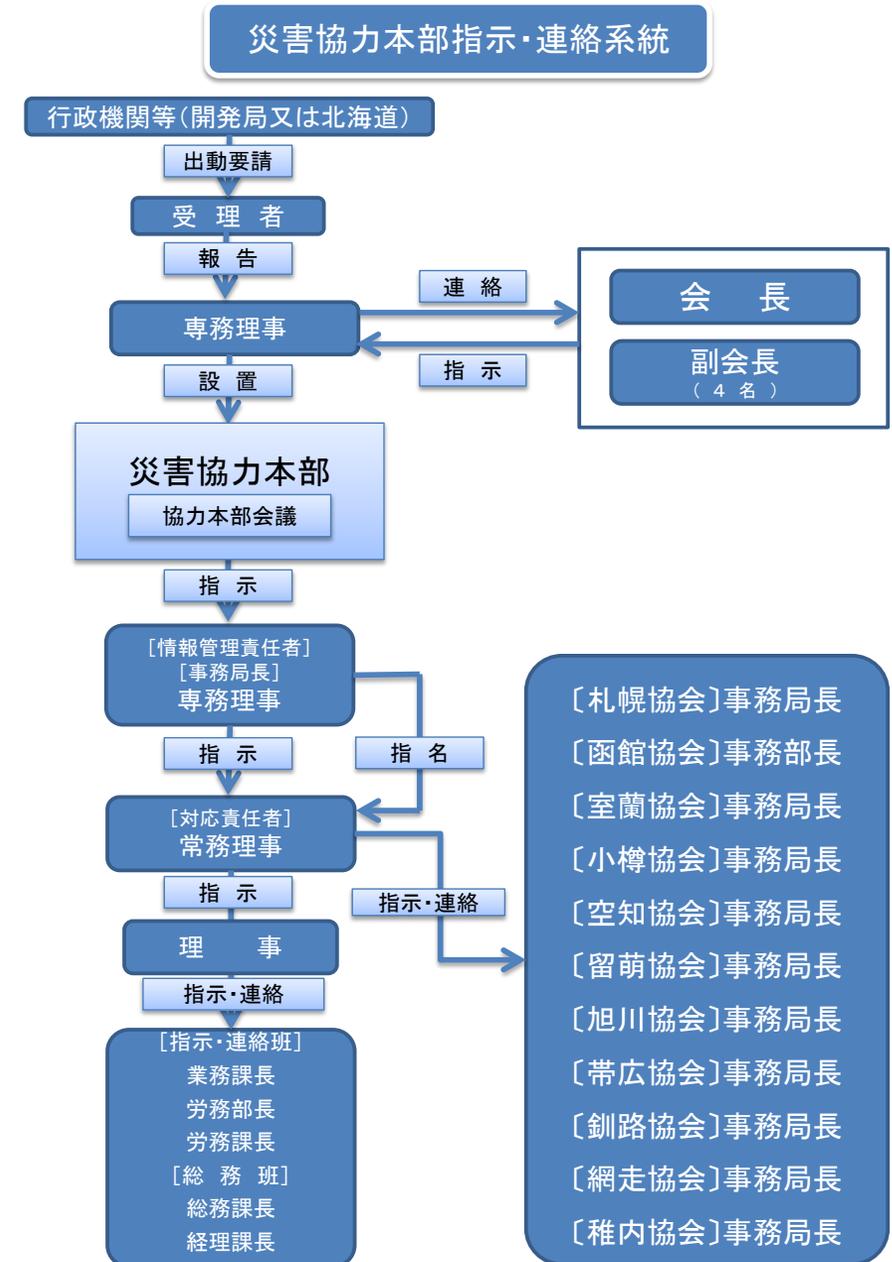
当協会では行政機関からの協力要請に対し、迅速かつ的確に対応するため災害協力行動指針を策定

- 災害発生時の連絡体制

災害時における応急復旧対策等の諸要請に対し、迅速かつ機動的に対応できる体制を整備

- 行政機関との協定

北海道開発局と平成11年に締結  
北海道と平成17年に締結



# 平時の活動

- 災害時の協力実施体制、資機材の保有状況等の報告

災害発生時における被害の拡大防止と被害施設の早期復旧を図るため、行政機関に対して各地方協会の協力実施体制や会員企業が保有する建設資材・機材の種類・数量を毎年把握し報告

- 防災訓練等への参加

北海道が実施している災害通信連絡訓練（地震・津波）や原子力防災訓練に参加

# 災害復旧活動

建設業「災害復旧作業」の様子

提供:(株)北海道建設新聞社

## 平成28年 台風10号豪雨による北海道の 一般国道274号日勝峠周辺の道路災害(1)

平成28年8月17日から1週間、北海道は3つの台風が連続して上陸し、大雨がもたらされた。更に8月30日に大型で非常に強い台風10号が北海道に接近、道内は記録的な豪雨に見舞われ、特に十勝地方は甚大な被害が発生した。14ヶ月もの間、日高町千栄～清水町清水間の36.1kmが通行止めとなった。



建設業「災害復旧作業」の様子

提供:(株)北海道建設新聞社

## 平成28年 台風10号豪雨による北海道の 一般国道274号日勝峠周辺の道路災害(2)

復旧工事には地場建設業者が中心となり、ICT導入による工期短縮や輻輳する多数の工事間の調整を図り、厳冬期も含めた通年で、復旧作業を進めていきました。



# 災害復旧活動（2）

建設業「災害復旧作業」の様子

提供:(株)北海道建設新聞社

## 平成30年 上川管内大雨災害(2)

旭川市など上川中部では河川が氾濫した他、上川・留萌地方では土砂災害、道路や農地の完遂、床上浸水や床下浸水の住家被害が生じ、避難指示(緊急)、避難勧告等が発令された。また道路の通行止めの他、公共交通機関が乱れた。なお、天人峡温泉では、道路規制により観光客(131名)一時足止めとなった。(7月6日8時現在 振興局調べ)



## 平成30年胆振東部地震



# 災害復旧活動（3）

建設業「災害復旧作業」の様子

撮影・写真提供:株式会社パスコ/国際航業株式会社

## 2018年9月6日未明の胆振東部地震を振り返る

写真は地震の当日の厚真町の現場を航空写真撮影にて

2018年9月6日午前3時7分に発生した胆振東部地震。この北海道観測史上最大の地震で、土砂崩れや液状化、ブラックアウトなど、各地で災害が起きました。その他、近年道内では台風等の大雨によっても、数多くの自然災害に見舞われております。ここでは各地で災害復旧に奔走した地場建設業者の記憶を写真と共に振り返ります。



建設業「災害復旧作業」の様子

提供:(株)北海道建設新聞社

## 2018年9月6日未明の胆振東部地震を振り返る

写真は地震から約2年後(2020年8月8日)の厚真町の現場をドローン空撮にて

